



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立西野中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■朝読書

本校では、短学活後に、生徒が毎日「本」に触れる「朝読書」の時間を設けています。1日10分という短い時間ですが、毎日の積み重ねによって読書習慣が身に付き、語彙力や読解力の伸長に繋がっています。また、朝読書におすすめな本を紹介することで様々なジャンルの本を知ることができるようにしています。

■テーマ別図書コーナー


学校図書館の入口右付近には一定期間ごとにテーマが変わる図書コーナーを設置しています。ただ読書をするのではなく、本を通して、人の感情や言葉の意味を知ることのできるコーナーとなっています。



学習センターとしての機能

■開校50周年コーナー

学校図書館の入口付近には、西野中学校開校50周年を記念し、西野中学校や西区の歴史などを期間限定で展示中です。



多くの生徒が昼休みや放課後の利用可能時間に手にとっている姿が見られ、文化祭当日は多くの保護者の方々にも来館していただきました。



■学習本コーナー

日頃の学習方法について知ることができる本も、いくつか取り揃えています。学習に不安を抱えている人でも、読書を通じて学習の仕方を振り返ることができます。



情報センターとしての機能

■SDGs コーナー

生徒が様々な環境問題や
これからの社会情勢に注目
するとともに、それらの課
題解決に向けて自ら考える
力を伸ばすことを目的とし
ています。



■スタンプラリー

文化祭期間に重ね、
図書局員が中心となり
、全校生徒が楽しく
図書館を利用できる
ようスタンプラリーを
開催しました。スタン
プを集めると今後の
読書活動に役立つしお
りや貸出冊数増える券
などを贈呈しています。

